

## カートリッジMTの使用方法について

【問】 データセットを保存するのに今まではMTを使用していましたが、MTは持ち運びに不便でしかも保存に場所をとります。最近センターに導入されたカートリッジMTは、コンパクトでしかもMTのフルサイズぐらいの容量があると聞きました。1度使用したいと思います。使用方法是これまでのMTとぜんぜん違うのですか。

【答】 実行方法はほとんど同じです。1、2箇所指定を変えれば実行できます。それ以外の場合は、テープ装置名の指定が変わるだけです。

【例】 カートリッジMTを使用する場合の例を3つ挙げます。図中の網掛部がMTを使用する場合と異なる指定箇所です。

- ・図1はKPFDFのMT初期化機能画面(B.1.4)で初期化を行う場合の指定例です。  
テープ密度に\*、テープ装置名にCMTと指定して下さい。

-----<金沢大学MT初期化機能画面>-----

コマンド=>                      SUB:バッチ依頼    SAVE:制御文の保存

.....

テープ密度 ==>	*	3 1600, 4 6250	* CMTの場合
テープ装置名=>	CMT	XXX,TAPE,OPENMT,CLOSEMT,CMT,*	
ボリューム通し番号>	TAKATA	磁気テープのボリューム名	
ボリューム・ラベル>	SL	SL (標準),NL (ラベルなし)	
ボリュームの数>	1	初期化したいテープの数	

注: XXXは磁気テープの機番, \*はシステムで決める.

ジョブ文の指定

> //AB9999? JOB ,CLASS=B,PASS=PASSWORD,REGION=2048K

.....

図1 MT 初期化機能画面

- ・図2はKPFDFのデータセット⇒MT保存形式指定画面(B.1.1.1)でデータセットの保存を行う場合の指定例です。

テープ装置名にCMTと指定して下さい。初期化以外の画面ではこの例のようにテープ装置名をCMTと変更するだけです。

- ・図3はデータセットを保存する場合のジョブ制御文です。KPFDFを使わずに、自分の所有しているジョブ制御文を使用しているユーザーはこれを参考にして下さい。

```

-----<金沢大学データセット⇒MT保存形式指定画面>-----
コマンド=>          SUB:バッチ依頼   SAVE:制御文の保存
.....

出力データセット名> PROG.FORT77                                DISK
  テープ装置名=> CMT      XXX,TAPE,OPENMT,CLOSEMT,CMT
ボリューム通し番号> TAKATA 磁気テープのボリューム名
ボリューム・ラベル> SL      SL (標準),NL (ラベルなし)
  ファイル番号=> 1
  ファイル名=> PROG.FORT77                                TAPE

  ジョブ文の指定
> //AB9999? JOB ,CLASS=B,PASS=PASSWORD,REGION=2048K
.....

```

図2 MT 保存形式指定画面

```

日本語EDIT --- AB9999.JCL.CNTL (POTOMT)----- 表示欄
コマンド ==>                                     移動量 =
***** ***** データの先頭 *****V10L30***
000100 //AB9999A JOB ,CLASS=B,PASS=PASSWORD,REGION=2048K
000200 //POCOPY EXEC PGM=JSECOPY,PARM='SIZE=10K'
000300 //SYSPRINT DD SYSOUT=A
000400 //PDS1 DD DSN=AB9999.PROG.FORT77,DISP=SHR
000500 //OUTMT DD DSN=PROG.FORT77,UNIT=CMT,
000600 // VOL=SER=TAKATA,LABEL=(1,SL,,OUT),DISP=NEW
000900 //SYSUT3 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(1))
001000 //SYSUT4 DD UNIT=SYSDA,SPACE=(TRK,(1))
001100 //SYSIN DD *
001200 COPY OUTDD=OUTMT,INDD=PDS1
001300 /*
***** ***** データの末尾 *****

```

図3 CMT を使用する場合のJOB 制御文

【最後に】 例でわかるようにMT からカートリッジMT への移行はとても簡単です。ただ、装置へのセットは最初はわかりにくいと思いますので、実際に使用する際にはセンター職員に相談下さい。

【Y. T】